

要望

日付：2025/5/12

件名：住みやすさについて

1. 問題、課題

- ・寒川にはショッピングモールやイオンなど大きな施設がない為、海老名や茅ヶ崎などに行くしかないので、車を所有していない人は、相模線の本数が少ないのでとても不便に感じます。
- ・また相模線の本数が少ない為、自分の知り合いの人も真冬や真夏は電車が来るまで非常に大変と仰ってました。
- ・そしてこの4月からゴミの回収方法や曜日も変わりましたが、毎週缶やペットボトル、瓶の回収が希望です。難しい要望だと存じますが、是非ともよろしくお願いします。

2. 改善案

- ・大きな施設(ショッピングモール、イオンなど)を設置していただきたいです。
- ・相模線の本数を増やしていただきたいです。
- ・ペットボトル、缶、瓶の破棄回収を増やしていただきたいです。

3. 改善後の効果

- ・買い物等便利になる。雨の日でも室内なので気分転換になる。寒川がより盛んになる。家以外の子供たちの遊べる居場所ができる。
- ・交通が非常に便利になる。本数が増えることで朝などの混雑が緩和する。
- ・ゴミがたまらなくなる。缶や瓶、ペットボトルの破棄回収が増えることで缶類など買うのを躊躇しなくなる。コンビニや駅などのゴミがたまらなくなる。

回答

<住みやすさについて>

【所管：産業振興課】

住みやすさについて、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。

大型商業施設については他の方からもご意見をいただくことがございます。今後、大型商業施設建設のご相談等があった際には、土地利用や現状における様々な課題も考慮し、町商工会等関係団体とも連携し検討してまいります。

【所管：都市計画課】

相模線の増発に関するご意見をいただきありがとうございます。

相模線の輸送量増加は、町としても希望しているところであり、神奈川県や沿線自治体とともに駅構内施設の安全性の向上や利便性の向上と併せて、本数の増加についても鉄道事業者に対して要望しております。

また、増発に繋がる取組みとして、神奈川県及び沿線自治体と合同で、相模線の複線化実現に向けた鉄道事業者や国会議員等への要望活動を行うとともに、相模線沿線地域のイベント周知や、相模線に係る広報活動を通じて輸送人員の増加に繋げ、増発や複線化の実現に寄与できるよう、引き続き取り組んでまいります。

【所管：環境課】

日頃より寒川町の環境行政にご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。今回、ご提案いただきました「びん・かん・ペットボトルを毎週回収していただきたい」とのお話に関しましては、現状、回数の増は検討しておりません。

ご承知のとおり、令和7年4月より、本町では、ごみ・資源物の収集方法を変更し、「びん・かん・ペットボトル」の回収頻度を、月1回から月2回に増やしております。この回数増については、町民の皆様が排出される、それらの資源物の総量を鑑みた上で、受け入れ先である、寒川広域リサイクルセンターや収集事業者等との調整を経て、現在の月2回という回数を設定したものでございます。

これを、それぞれ月4回とすることは、収集効率の観点や、町民の皆様への負担増にも繋がると考えられるため、実施をする予定はございません。

また、コンビニエンスストアや駅のごみ箱は、それぞれの事業所によって、それらの店舗・施設の利用者様が、その場等で購入された「びん・かん・ペットボトル」を出すために設置されているごみ箱です。そのため、それらのごみは、通常のご家庭ごみではなく、事業ごみとなり、町も収集を行っておりません。

家庭から出る一般のごみを、それら店舗・施設に出されることは、マナー違反となるため、そのような行為は行わないよう、町としても周知を徹底していきたいと考えます。